

キャリア形成とキャリアコンサルティング

研究の概要

人の数だけ生き方があるように、キャリアも人の数だけあります。キャリアは誰もの問題であり、大学生であれば入学時と社会への移行となる就職時が節目とも言えるでしょう。女性であれば結婚や出産、性別に関わらずミドル世代になると管理職登用や部下育成、シニア世代はセカンド・キャリアなど、人生にはいくつもの節目があります。それは予期できるものもあれば、予期せぬものもあります。どのようにキャリアを歩めばいいのか、正解のない道をいかにすれば正解と思える道に近づけられるのか。転機に焦点を当てて、何が問題になっているのか、どのようにキャリア形成を図っていくかを研究しています。

研究の特徴

これまで2つの転機を取り上げてきました。

1. 初めての転機となる「就職」

大学進学率の高まりから、大学が社会への移行の場になっています。日本の雇用慣行では新卒一括採用のため、このタイミングを逃さないように大学では就職支援をしています。特に、インターンシップは職業意識の醸成に効果が高いと言われますが、課題も多くあり、それらの問題を取り上げることで、インターンシップ研究を進めてきました。

2. 強制的転機である「転勤」

転勤も、日本的雇用慣行の特徴の1つです。共働きが一般化する今日において、夫婦の一方の転勤は、もう一方（概ね妻）のキャリア形成に影響を及ぼします。M字カーブが存在してきた女性の離職には複合的要因があると多くの研究で述べられているものの、出産育児に関する研究が中心でした。そこで、配偶者の転勤に着目し、女性のキャリア形成に及ぼす影響を検討してきました。

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

高校生対象のキャリアセミナー／教員対象の進路指導のセミナー／若年層対象の就職支援セミナー／1級もしくは2級キャリアコンサルティング技能士を目指す方向けの支援（ロールプレイング）など

研究者からのメッセージ

1級キャリアコンサルティング技能士です。企業等においてセルフ・キャリアドックの導入が求められていますので、1on1や面談の進め方などお役に立てることと思います。研究に限らず、お気軽にお問い合わせください。

研究分野： キャリア形成, キャリアコンサルティング, 産業社会学

研究者の所属部局・職位・氏名： 和歌山大学 キャリア教育・支援部門・講師・川端由美子

本件に関するお問い合わせ： liaison@ml.wakayama-u.ac.jp